



# さくらんぼ

仏教婦人会連盟  
寺院女性会連盟

合同機関紙

発行所：  
新潟教区教務所  
長岡市与板町  
与板 4356  
Tel (0258) 72-2120  
F (0258) 72-2536

## 決まったよ!“さくらんぼ”

第一回のたより(仮)で、たよりの名前を募集しました所、たくさんのお名前を寄せていただきありがとうございます。

慈育のとも・ともしび・であい・ほのぼの・響き合  
い・輝き・同朋に・ETC.などステキな名前を考  
えていただきました。

話し合いで“さくらんぼ”に決定!“さくらん  
ぼ”はいつも二個が一緒にくっついて並んでいま  
す。仏婦も寺院女性も共に歩もうね。という願  
いが込められています。

今日が“さくらんぼ”の初デビューです。さく  
らんぼが皆さんの話題でいっぱいになり、そして皆さ  
んの潤滑油になれたらうれしいです。

編集者一同



## 仏婦総連盟総会 に参加して

去る四月十八・十九日の  
二日間、京都で行われた仏  
教婦人会総連盟総会に、新  
潟教区から九名で出席させ  
ていただきました。

全国から六六二名もの会  
員が集まり、盛大な総会と  
なりました。新潟教区代表  
の評議委員 小原三枝子さんが、総会の大舞  
台で、司会進行を立派に務められるなど大活  
躍でした。講演も素晴らしく、その内容に涙  
する人が大半で感激いたしました。また、仏  
教婦人会総連盟の機関紙「めぐみ」を購読い  
たきたいとの勧めがありました。

参加者一同、異口同音に  
「感動した。良かった。こ  
の感動を多くの人達に肌  
で感じとって欲しい。」と  
の思いで帰路につきまし  
た。

巻組 藤由祐子



## 教区寺院女性連盟総会

(五月二十七日十時三十分より)

### 開催される

参加者は二十数名でしたが、十九年度活  
動・決算報告に続き、二十年度活動・予算案  
が協議され承認されました。研修会では宮川  
善裕教務所長が七百五十回大遠忌宗門長期  
振興計画の重要項目である、次代を担う『人』  
の育成として全寺院で「子どものつどい」キ  
ッズサンガの実施について話されました。助  
成金やアドバイザー・サポーターの活用、サ  
ングスタッフと具体的に教えていただきました。

研修会の後は与板町ウオークで、ボランテ  
ィアガイドの説明を受けながら別院前の歴  
史民俗資料館を出発し、蓮正寺、徳昌寺、楽  
山苑と歴史の町与板を楽しみ三時三十分  
に別院に戻り、閉会式を行い解散しました。

黒田会長は挨拶の中で、中越沖地震の炊き  
出しボランティアのお礼を述べ、「仏婦・寺  
院女性ともに活動が出来ることが嬉しく有  
難い、今後も一緒に活動して活性化に結び付  
きたい。今年度は参加数の減少化を鑑み難し  
い研修会だけでなく懇親会を含めたお楽し  
みがあってもいいのではないかとという事  
で与板町ウオークを計画しました。与板町に親  
しみを感じ、一人でも多くの方に別院にお  
いでいただきたいのでご協力をお願いいた  
します。最後に今日は楽しんでください」と  
挨拶をしました。

## 心地よい刺激」

教区寺院女性研修総会に参加し、爽やかな五月晴れの中で、楽しいひと時をすごさせていただきました。久しぶりにお参りした本堂でお勤めした讃仏偈、教務所長さんのキッズサンガへの取り組み、役員、会員の皆様の熱心で活発な総会での意見交換、そして戦国の乱世に“愛”の文字を掲げ、“義”に生きた、智勇兼備の名将、直江兼統の足跡をたどるウオークラリーと、日々忙しさに、心を失っていた私に、心地よい刺激を頂きました。ありがとうございました。

巻組 田子幸子

## 与板再発見」

与板の別院へは何度も通つていても、与板の町の中をゆつくりと歩いたことのない私にとって、このたびの研修総会は楽しみでした。

ボランティアの案内の方が親切にわかりやすく説明してください。上、天候にも恵まれた上、楽山苑からの眺めはすばらしいものでした。与板の歴史に思いを馳せたり、それを大切に守り続けていらっしゃる地元の皆様への思いに触れたりすることができ、与板の地に一層親しみを



もつことができたと言っております。

新潟組 眞谷直子

## 私もミーンハー？」

爽やかな風の吹く与板町をボランティアガイドさんに説明を受けながら、徳昌寺、楽山苑を歩き、ひよつとして、来年の大河ドラマはここでロケがあつて、妻夫木君が来るのかも……と、会話も弾み、サツポロビール

創業者が与板町の人だったとは驚きです。「自然」「法璽」の良寛の直筆の墓銘には感慨無量でした。その他大判焼で有名な店など、まだまだ知らない事の多い与板の町、また歩いてみたくなりました。

三条組 黒田吉佐子



## お答えして

### 男性も坊守？」

寄せられたご意見に「坊守」について、男性坊守の寺もあるということでした。坊守規定が改正されましたが、その事について、お話いただきました。

## 坊守」について

皆さんが、「坊守（ぼうもり）」という言葉を知って真つ先に思い浮かべるのは、「お寺の奥さん」ということではないでしょうか。

実際、私達の「浄土真宗本願寺派」における宗門法規では、従来「坊守」ということについて、「住職の妻及び住職であった者の妻又はその生存配偶者で、坊守式を受け、宗務所備付の坊守台帳に登録された者を坊守という。」と規定されてきました。

この意味で、「坊守」とは女性であり、住職の妻、若しくは前任住職の妻ですから、「お寺の奥さん」という図式が成り立つ訳ですね。しかし、先般の「宗法」の改正により、「坊守」とは前条（寺族の条項）の規定による寺族のうち、住職の配偶者及び住職であった者の配偶者又は住職が適当と認められた二十歳以上の寺族で、寺院備付の坊守名簿に登録された者をいう。」と規定されました。

この事により、「坊守」とは住職の妻と限定されたものではなく、男女どちらもが考えられる訳ですから、「坊守」＝「お寺の奥さん」の図式は当てはまらなくなつたのです。しかしながら、今でも「坊守」といえば大多数は女性でありましょう。この事は、「住職」という役職への女性の進出の少なさが大きいに関係していると思われまふ。

男女共同参画、男女平等が叫ばれ、実践する社会が求められる今、私達の宗門として何をすべきなのか、もう一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

社会実践委員会 委員長 廣橋卓也

## 仏婦交換学生 仏青大会に参加

七月二十四～二十七日、コートニーさんとジェニファーさんが交換留学生として来県。巻組 願正寺でホームステイをし、湯沢で開催された仏青大会に参加しました。大会ではゲームや餅つきを皆と楽しみました。

### ホームステイを引き受けて・・・

「なんとかなるさ」は、引き受けごとをするときの自分への合言葉になりつつあります。何とかはなりましたけれど、今回は「こんなはずではなかった」が数多くありました。ある程度の言葉の壁は覚悟していたものの、ホームステイ前々日に、実は日本語がまったくわからないということがわかり、最初のどうしようを抱えてしまいました。自分の英語力のなさを嘆きつつ、別院での対面。でもこちらもどきどきなら学生さんはもつとどきどきしているのだから、私がリラックスしなければと思います。本堂で一緒に恩徳讃を歌ったとき、歌詞が世界共通ということを知り言葉は通じなくても、同じみ教えの中に生かされている仲間なんだから、心は通じるはずと嬉しく思いました。自坊の本堂でのお勤めは三回とも恩徳讃を一緒に歌いま



した。最終日は近所の子どもを巻き込んで、お約束の花火をしました。新潟教区ホームステイの思い出が、花火のように心に美しく残ってくれたらいいなあと思います。湯沢でのお別れするとき、二人とハグしながら、心は通じたよねーと耳元にささやいて、別れの言葉としました。

巻組 乙山由起子

## 教区仏教婦人大会に向けて！

今年度（平成二十年度）の仏教婦人大会の計画は、新潟組が担当です。まず、実行委員会の設立です。新潟組の会長・副会長、他に各寺院より一名～二名、そして事務局より一名と合計十七名で発足いたしました。

第一回の委員会では仏教婦人大会の開催日時、講師選定を協議。

第二回の実行委員会で講師決定。

観山正見先生との出逢いは、読売新聞の“時の人”「顔欄」です。科学者で本願寺派の副住職でおられるとのこと。

私も浄土真宗の勉強をさせて頂いており“すごい方”が載っている・・・と新聞を切り抜いて大切にとっておきました。

新潟組が担当となったこの度の大会に、是非おいで頂きたいと役員会で紹介致しました。

すぐ承認して頂き、今回のご縁となりました。お会いできることをとても楽しみにしています。

新潟組 佐藤淳子

## こんなことしました

### ◆三条組 みのり会研修旅行

親鸞聖人の足跡巡り六月四日（水）参加二十名 親鸞聖人ゆかりの上越地方をバスで巡りながら、楽しい時間を過ごしました。

### ◆与板組

#### ※与板組育ちあういのち

二月二十四日（日） at 別院

午前 与板組若僧侶によるリレー法話

午後 雅楽（与板組若僧侶）

シンセサイザーコンサート（彦☆星さん）

参加者四十五名

#### ※与板組キッズサンガ at 光西寺

八月二十日（水）午前十時～午後一時頃

お勤め、ご法話、レクレーション、流しそ

うめん

#### ※与板組合同研修会 at 明元寺

八月三十日（土）午前十時～十二時

真宗と女性」講師 田子了祐氏（巻組一

心寺）

### ◆元上組

第八回「さわやか講話会」が門推主管で

七月六日（日）専徳寺にて開催。

講話「家族みんなで話していますか」

講師 富山教区 善巧寺 雪山玲子氏

会場は満堂（一七六名）で大盛況でした。

## (コラム)私の経験

春夏秋冬、三年間の評議委員の任期も、残りわずかになりました。私がお念仏に身をおく初めての経験でした。何と云っても、全国の会員さんとの出遇いを通してご縁をいただき、多くの事を学んだことが、生涯を通しての素晴らしい財産となったように思います。初めてのご本山でのおあさじは身の引き締まる思いでした。大勢の参拝者の中で圧倒されつつ、心地よさを感じられ嬉しく思いました。今は評議委員をさせていただきました事に感謝しつつ、教区の仏婦会員の皆様方にも大いに経験していただきたいと思っています。

これからも、浄土真宗の南無阿弥陀仏のお念仏を称えつつ、ご聴聞を重ねて三年後の親鸞聖人七百五十回忌大遠忌法要をお迎えしたいと思います。同じ年に仏教婦人会世界大会が日本で開催されます。浄土真宗のみ教えをいただき世界中の皆様と又ご縁をいただけるよう念じております。

与板組小原三枝子

## お知らせ

★教区若い女性聞法の集い

九月二十八日(月) 一時半より

参加年齢 四十五歳以下

講師 雲林重正氏

バルーンアート体験教室あり

お子様連れ歓迎

★寺院女性会連盟研修会

十月二日(木) 午後一時半より

テーマ「相談業務のイロハについて」

講師 古田島光子氏

(県人権擁護委員連合会理事)

★ビハーラ公開講座 十月十二日(日)

新潟別院にて 一時三十分受付二時より

講師 結城思聞師(元松倉悦郎)・無料

★仏婦寺院女性合同清掃・交流会

十月十六日(木)

午前 清掃・バザー値付け

午後 親鸞音頭を踊ろう。

★どんとこいフェスタの手伝い

内容未定 十月十九日(日)

## ありがとう

★仏婦バザー報恩講売上金十一万二千五百〇円

別院伝道教化に使わせていただきます。

★謝恩講(十月二十三日・二十四日)のバザ

ーのご協力をお願いします(遊休品をお持ちください)

◆巻組 仏婦代表者会議

四月十一日巻組願正寺を会場に、巻組仏婦連盟の規約第五条による第一回代表者会議が開催されました。代表者会の初めの一歩です。これからは、代表者の方達と充実した仏婦活動を目指していきたいと思えます。

巻組 青木和枝

## こんなことします

◆長岡組 寺族婦人研修会

「仏壇工場見学と仏像金箔張り体験ツアー」  
期日 十一月中旬  
とび入り大歓迎!

◆地蔵堂組

永了寺仏教婦人会では、今年四月より月一回お経会を開いています。  
第二土曜日、夜七時から本堂で、お正信偈の練習をしています。

◆元上組

寺院女性会連盟研修旅行  
・九月十～十一日に長野方面(長野別院へ)

## スタッフ募集

「さくらんぼ」スタッフ募集

紙面作りに興味のある方、一緒にやろうよ。  
連絡待っ！ 事務局 新田

「さくらんぼ」の感想・意見・質問・投稿お待ちしています。

